

[特集2] [特集1]

# 評劇

創立二十五周年記念事業  
「犬島海の劇場」

IFプラン推進五年間の評価

# 価値場

★創立二十五周年記念事業「犬島海の劇場」スケジ  
ュール・募集案内★平成二十三年度 教育研究助成  
及び文化活動助成者対象者決定★助成先の活動

# 創立25周年記念事業「犬島 海の劇場」

創立 25 周年を迎えた財団法人福武教育文化振興財団では、今年度から2ヵ年にわたる記念事業を展開いたします。記念事業は、昨年「瀬戸内国際芸術祭」が開催された岡山市唯一の有人島・犬島をメイン会場に選び、総合テーマを「犬島 海の劇場」としました。

犬島は瀬戸内海の多くの島々と同様、過疎化、高齢化の波に晒されています。しかし島内には、銅の精錬所を再生した現代美術館「精錬所」をはじめ、古い民家や島特産の石を生かした「家プロジェクト」、廃校になった小中学校を再生した滞在型の生涯学習施設「犬島自然の家」、島ならではの海洋リゾートとして整備された海水浴場やキャンプ場などがあり、縄文時代から続く自然景観と、島の歴史と交錯する現代芸術が見事に溶け合っている島です。

こうした魅力的な島を舞台に、秋には維新派の新作「風景画」の初演をはじめ、演劇、ダンス、音楽などを展開し、さらに財団が目指している人づくり、地域づくりの機能を組み合わせることで記念事業の役割を果たしたいと考えています。

この事業の実施に当たっては、多くの実績を持つ特定非営利活動法人アートファームと共催して取り組んでいます。そこで今回は総合ディレクターとしてすべての事業を取り仕切っている大森誠一さんに、事業の内容についての寄稿をお願いいたしました。

## 秋には維新派「風景画」初演も！

## 財団の人づくり、地域づくりに 新たな一頁を加える

2 年連続する記念事業のうち今年のオープニングは、フランスと日本の芸術家たちが共同で取り組む『ささやきの詩想レジスタンス——桜前線 2000 キロの旅』のパフォーマンスを4月1日と2日に予定し、フランスの芸術家たちも期待を胸に来日していました。しかし東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故で、フランス政府からの帰国勧告を受けて帰国し“桜前線の旅”は残念ながら中止となってしまいました。

しかし国家的な試練ともいえる今だからこそ、地域に生きる私たちは歩みを止めず、社会に貢献できる文化芸術の発展を求めていかねばならないと思っています。

記念事業として次に目指したのが、犬島と地域と学校をアーティストによってつないでいく「舞台芸術と地域の交流塾」です。福武教育文化振興財団が、創立以来支援を続けてきた岡山県内の教

育・文化の人づくり、地域づくりに新たな一頁を加える試みです。

交流塾ではまず、島内にある岡山市立犬島自然の家で、4月29日から2泊3日の「中高生のためのアート合宿」を開きます。

講師には音楽担当のピアニストで作曲家のMAKIこと藤原麻紀氏、ダンスを担当する振付家でダンサーの山下残氏、また演出家でありパフォーマーでもある大岡淳氏が演劇担当と、各界の第一線で活躍するプロを配しています。

参加するのは、玉野市立宇野中学校が音楽で、岡山県立西大寺高校がダンス、岡山県立総社高校が演劇で、いずれも日頃の部活動では体験できないアーティストからの直接指導や創作演習が受けられることになっています。またこの合宿では学校の枠を越えた仲間意識の醸成をはかるほか、海からの犬島遊覧や島に住む人から島の歴史を学ぶプ

### 大森誠一

特定非営利活動法人  
アートファーム代表理事



ログラムを組み、幅広い人格形成も目論んでいます。

合宿の後、各学校では犬島で学んだことを基に作品づくりと取り組み、講師は毎月1回学校を訪問して各ジャンルの創作指導にあたります。

交流塾は岡山市立角山小学校でも開催され、正規の総合学習時間の中で全校児童 35 人を対象に劇作家で演出家の角ひろみ氏が指導を務めます。

約 4ヵ月にわたる作品づくりを終え、8月20日には合同発表会を開催します。

また交流塾の塾長に就任いただいている劇作家で大阪大学教授の平田オリザ氏によるセミナーを6月と7月に開催します。一般の方にも参加いただけるこのセミナーでは、これからの日本の文化政策や学校教育の在り方についても示唆に富んだ発言が期待されています。

## 秋シーズンに登場する 斬新な委嘱創作2作品

「犬島 海の劇場」秋のシーズンは、2つの異色の演劇で彩られます。

ひとつは昨年も犬島で爆発的な人気を呼んだ維新派の公演です。今年は趣をガラッと変えて、維新派独特の大舞台も客席も作らない、瀬戸内の風光の変化や潮の干満の中に、あの白塗りの役者を配しながら展開する全く新しいスタイルが編み出されます。題して「風景画」。犬島の古い港“中の谷”が舞台です。今回も維新派の役者陣と共演する出演者 10 数人を募集します。そして9月3日から岡山市内で維新派主宰・演出家の松本雄吉氏による稽古が始まり、公演は9月23日から25日までの3日間開催します。

もうひとつは瀬戸内海の周防大島に生まれた民俗学者・宮本常一をリスペクトした『地球 4 周分の歌』です。注目の若手演出家・村川拓也氏が犬島と海を舞台に展開する斬新な作品に挑みます。移動演劇というスタイルを用いながら、観客は、宮本常一の生きた時代と彼の見つめた風景を体感する演出です。

この作品では5～6人の主要キャストを募集して8月26日から岡山市内で稽古を始め、公演は10月9日と10日の2日間開催します。

この2つの公演はいずれも犬島が初演です。

2年目の事業については、「舞台芸術と地域の交流塾」を継続させるほか、演劇、音楽、ダンスの各分野の企画を進め、犬島から新しい瀬戸内文化を発信したいと思っています。

# IFプラン推進5年間の評価

「学力・人間力育成推進会議」が進める、「IFプラン」は、東京大学大学院教育学研究科市川伸一教授が提唱する「6つのIF、もしこうすればこのような結果が得られるであろうというプラン」を実行することによって、学校と地域が一緒になって子どもたちの豊かな学力と人間力を育成しようとするもので、岡山県下ではこの取り組みを始めて5年が経過しました。そこで、評価と今後の進め方を指導顧問である市川伸一教授に伺いました。



市川研究室にて

—市川先生、このたびは教育学研究学科長にご就任おめでとうございます。これからますます多忙になることと思いますが、よろしくお願ひします。まず始めに先生が「IFプラン」を提唱されたいきさつについてお伺ひします。

市川：IFプランは、学校だけでなく、地域を含めたトータルな学習環境をつくって、学力・人間力を育てるという考え方で作られました。2004年に私が「学ぶ意欲とスキルを育てる」という本を出したのですが、その話を福武理事長に聞いていただいたときに、岡山で実現しようと動いてくださったのです。1つだけでもかなり大変なプランに、多くの学校・地域が熱心にとりこんでくださっていることは、たいへんうれしいことです。

—「IFプラン」の活動は、これまで5地区が終了しました。各地区とも非常によい評価をいただいています。先生の評価はいかがですか。

市川：それぞれの地区によって特色があります。井原地区、灘崎地区は、IFプランを最初にとりあげたところですが、どちらも「教えて考えさせる授業」による授業改革、授業を核にした小中連携に取り組まれました。灘崎中学校区は、その後も、岡山での授業改革の拠点校となっています。美咲地区は、地域スポーツクラブを中心とした活動で、「学びのポイントラー」の認定証発行が全国一多い地域になりました。岡北地区は、独自のポイント制度をつくって、地域教育の活性化に

取り組みました。行幸地区は、算数を中心に質の高い授業改善を行って、小学校のいいモデルを提供してくれたと思います。

—今年も7地区で進めます。今後のすすめ方のご提案をいただきたいと思ひます。

市川：IFプランは、「学校と地域」「授業と家庭学習」「指導と評価」「学力と人間力」というように、広い視点から教育をとらえることを促すプランです。包括的なプランですが、ある意味、極めて具体的です。そこで目指している方向性をまずつかんでいただきたいと思ひます。たとえば、理解を重視した学習、自分の学習を改善する意識と手立て、友達や社会人と関わりながら学ぶことなどです。

これまでの教育研究は、非常に抽象的なテーマのもとで行われるか、逆に限定的なテーマを一定期間だけ追求するというものになりがちだったように思ひます。

推進会議でとりあげている学力・人間力の育成というのは、全体的な教育のコンセプトを、日常的な学びの環境としてつくろうとするものです。先進的に取り組む地域はもちろんたいへんですが、その工夫を参考に、岡山に自然な形で広がっていけばよいと思ひます。推進会議が、研究助成と同時に、広報活動や地域間のネットワークづくりに貢献できるとよいですね。

—ありがとうございました。

## IFプランとは

6つのIF(イフ)、もしこうすればこのような結果が得られるであろうというプラン

- |     |   |
|-----|---|
| I   | 「教えて考えさせる授業」が学校に定着すれば・・・<br>より多くの児童生徒が基礎基本を確実に習得できるであろう。→基礎基本の確実な習得 |
| II  | 学力・学習力のアセスメントテストを活用すれば・・・<br>学習改善、授業改善を効果的に行うことができるであろう。→学習改善・授業改善  |
| III | 学習法指導を学校や地域で行えば・・・<br>家庭学習の習慣やスキルを身につけることができるであろう。→家庭学習の習慣・スキル      |
| IV  | 授業外の学習支援機能が充実すれば・・・<br>個に応じた、補充や発展の学習ができるであろう。→個に応じた補充・発展           |
| V   | 学校と地域の連携した教育プログラムを充実させれば・・・<br>社会人との関わりを通して、夢や目標をもつことができるであろう。→夢や目標 |
| VI  | 授業外学習ポイント制度が導入されれば・・・<br>地域教育への参加が促進され、人間力の育成が促進されるであろう。→地域教育への参加   |

## 参考資料

### 平成23年度活動地区7地区

- ◎岡山市香和地区委員会(香和中学校・横井小学校・野谷小学校・馬屋上小学校)
- ◎津山市北地区委員会(津山北小学校)
- ◎備前市日生西地区委員会(日生西小学校)
- ◎矢掛町矢掛地区委員会(矢掛中学校・矢掛小学校・山田小学校・美川小学校・三谷小学校・川面小学校・中川小学校・小田小学校)
- ◎倉敷市柏島小学校区委員会(柏島小学校)
- ◎玉野市玉中学校区委員会(玉中学校)
- ◎高梁市立有漢地区委員会(有漢中学校・有漢西小学校・有漢東小学校)

### すでに終了し、相談・広報活動を担う地区3地区

- ◎岡山市灘崎中学校学力向上推進委員会
- ◎岡山市御野小学校学力向上推進委員会
- ◎美咲町美咲中央小学校推進会議



東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長

## 市川伸一

1953年、東京生まれ。東京大学文学部卒業。文学博士。専攻は認知心理学、教育心理学。特に、認知理論に基づいた学習過程の分析と教育方法の開発をテーマとしている。文部科学省中央教育審議会委員も務める。『勉強法が変わる本—心理学からのアドバイス』《2000》(岩波ジュニア新書)、『学ぶ意欲とスキルを育てる』《2004》(小学館)「教えて考えさせる授業」を創る』《2008》(図書文化)など多数。



## 創立25周年記念事業「犬島海の劇場」

Month	Day	Program
4	29(金・祝) ～5.1(日)	舞台芸術と地域の交流塾「中高生のための犬島アート合宿」 Place 岡山市立犬島自然の家
	29(金・祝)	海からめぐる犬島周遊船 運行時間12:30～、13:45～
5—8		学校でひらく舞台芸術教室 Place 角山小学校(演劇・講師:角ひろみ)、宇野中学校(音楽・講師:MAKI) 西大寺高等学校(ダンス・講師:山下 残)、総社高等学校(演劇・講師:大岡 淳)
6	8(水)	舞台芸術と地域の交流塾「平田オリザの合同セミナー」 Place/Time 岡山市民会館・4階会議室 19:00-21:00
7	9(土)	【前売チケット発売】 維新派 市民参加野外劇「風景画」/移動演劇 宮本常一への旅「地球4周分の歌」
	22(金)	舞台芸術と地域の交流塾「平田オリザの合同セミナー」 Place/Time 岡山シンフォニーホール・イベントホール 19:00-21:00
8	20(土)	舞台芸術と地域の交流塾「合同発表会&シンポジウム」 Place/Time 西川アイプラザ 13:00-17:00
9	3(土),4(日) 10(土),11(日) 17(土),18(日)	維新派ワークショップ(公募出演者対象) 講師:松本雄吉、他
	23(金・祝) ～25(土)	維新派 市民参加野外劇「風景画」 Place/Time 犬島 12:00-14:00 (干潮時刻により変動あり)
10	1(土)	講演「旅する民俗学者・宮本常一を知る+語る」 Place/Time 未定
	9(日)～ 10(月・祝)	移動演劇 宮本常一への旅「地球4周分の歌」 Place/Time 犬島 14:00-16:00

サポートクルー「みみすまし」	犬島に住む人々と自然から学びたい。犬島海の劇場では、記念事業の制作や運営を支え盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集しています。
◇主な活動内容：広報活動、会場準備、当日運営、来場者対応など。◇応募対象：18歳以上(高校生は応募できません)、経験不問。◎犬島での実施日や岡山事務局での打合せに参加できる方なら居住地は問いません。◇募集期間：～2011年10月、随時募集。	

秋公演の「出演者」募集	「犬島海の劇場」秋シーズンの公演に出演いただける方を募集しています。
★維新派 市民参加野外劇『風景画』	◇稽古日：9月3日(土)・4日(日)・10日(土)・11日(日)・17日(土)・18日(日) ◇稽古時間：土曜日15:00～21:00、日曜日13:00～17:00 ◇稽古場所：岡山市街地の施設 ◇応募対象：18歳以上、経験不問、稽古と本番に参加できる方なら居住地は不問
★移動演劇 宮本常一への旅「地球4周分の歌」	◇稽古日：8月26日(金)以降、毎週金曜・土曜・日曜(稽古時間:検討中) ◇稽古場所：岡山市街地の施設 ◇応募対象：年齢応相談、経験不問、稽古と本番に参加できる方なら居住地は不問

※スケジュール及び募集内容の詳細は「犬島海の劇場」のHPでご確認ください。

犬島海の劇場  検索

<お問合せ・お申込み>

犬島海の劇場・岡山事務局 NPO法人アートファーム内

〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-5-404 TEL=086-233-5175 FAX=086-239-5895

URL=http://www.artfarm.or.jp/25th/ E-mail=info@artfarm.or.jp

平成23年度 教育研究助成及び文化活動助成者対象者が決定いたしました！

多数のご応募ありがとうございました。次年度の募集は平成23年12月1日から行います。

教育研究助成： 応募件数:107件/助成件数:56件/助成総額:1,200万円

文化活動助成: 応募件数:197件/助成件数:79件/助成総額:1,510万円

財団法人福武教育文化振興財団 助成先の活動

～文化活動助成 公開活動～

○犬島の風景精練所跡(大正100年記念)

○大正時代のおかやま(プレ展示) ○犬島愛(藍)の会

開催日 平成23年4月19日(火)～5月22日(日) 常設展示料300円  
10:00～18:00(入場は17:30まで)※月曜日は休館です

会場 岡山市デジタルミュージアム5階展示室

主催 犬島再発見の会、おかやま市民学芸員の会ほか

問合せ TEL.086-898-3000(岡山市デジタルミュージアム)

○みんぞく読書会

開催日 平成23年4月23日(土)10:10～11:40(毎月第2、第4土曜日)

会場 岡山市立幸町図書館3階

主催 岡山人文学舎

問合せ TEL.086-254-3825(次田)

○瓢箪園芸祭り

開催日 平成23年4月29日(金)～5月5日(木)

会場 RSKバラ園

主催 岡山県愛瓢会

問合せ TEL.090-6847-3184(大西)

○AMOKAフェスタ・春

開催日 平成23年5月3日(火)、4日(水)

会場 天岡公園(西粟倉村影石)

主催 AMOKAプロジェクト

問合せ TEL.050-3736-0312(事務局)

○富 昔ながらの田植再展

開催日 平成23年5月5日(木)

会場 布施神社前田んぼ(鏡野町)

主催 白賀川地域協議会

問合せ TEL.0867-57-2111(鏡野町富振興センター内)

○第47回例会報告 前原茂雄「美作国守護所の歴史・地理学的位置」

開催日 平成23年5月7日(土)13:30～16:00

会場 就実大学学生会館(V館)地下ゲストルーム

主催 岡山中世史研究会

問合せ TEL.086-271-8172(研究室直通)

○5月鑑賞会 劇団たんぼぼ公演「100万回 生きたねこ」

開催日 平成23年5月22日(日)18:30～ 会費制

会場 百花プラザ多目的ホール

主催 特定非営利活動法人 文化☆体験ネット西大寺子ども劇場

問合せ TEL.086-942-1544(事務局)

○菓子百花 その式

開催日 平成23年5月28日(土)、29日(日) 入場料1,500円

会場 遊美工房(玉島中央町)

主催 菓子百花その式実行委員会

問合せ TEL.090-5378-6675(遊美工房)

○岡山の民話朗読会

開催日 平成23年5月下旬(要問合せ)

会場 宮筋文化堂(総社市)

主催 宮筋文化堂サポート倶楽部

問合せ TEL.090-6846-6019(事務局)

○牛窓オーリーブ園写真展

開催日 平成23年6月1日(水)～6月30日(木)

会場 街角ミュゼ牛窓文化館

主催 港まちなちの会

問合せ TEL.086-277-5464(シマ写真事務所)

○セタライブ

開催日 平成23年7月7日(木)

会場 宮筋文化堂(総社市)

主催 宮筋文化堂サポート倶楽部

問合せ TEL.090-6846-6019(事務局)

○夏休み子どもまつりinルネスII

開催日 平成23年7月28日(木)、8月1日(月) 入場料500円

会場 ルネスホール

主催 夏休み子どもまつりinルネスII実行委員会

○ライアーを聴く・出版記念会

開催日 平成23年7月30日(土)

会場 吉備路文学館

主催 岡山県詩人協会

～教育研究助成 公開活動～

○「聴き合い、学び合う」授業づくり

開催日 平成23年6月21日(火)13:50～16:50

会場 岡山市立西大寺中学校

主催 「聴き合い、学び合う」授業づくり推進協議会

問合せ TEL.086-942-3818

～学力・人間力育成推進事業助成 公開活動～

○公開事業

開催日 平成23年6月16日(木)

会場 玉野市立玉中学校

主催 玉野市玉中学校区推進委員会

問合せ TEL.0863-31-4211

開催日 平成23年6月30日(木)

会場 倉敷市立柏島小学校

主催 倉敷市柏島小学校区推進委員会

問合せ TEL.086-522-3076

○教えて考えさせる授業セミナー

開催日 平成23年7月30日(土)

会場 ビュアリティまきび

主催 学力・人間力育成推進会議

問合せ TEL.086-221-5254

※詳細等は変更となる可能性もありますので、事前にお問い合わせのうえご来場ください。

財団法人福武学術文化振興財団主催 成果発表大会のお知らせ

平成21年度に実施した「瀬戸内海文化研究・活動支援助成」の第5回成果発表大会を下記の要領で開催いたします。

開催日 5月21日(土)13時～18時(開場:12時30分)

会場 サンポートホール高松 第2小ホール(香川県高松市サンポート2番1号/アクセス:JR高松駅より徒歩3分)

詳しくは、福武学術文化振興財団のHPでご確認ください。http://www.fukutake.or.jp/science/top/index.shtml

# 掌

杉浦慶太

これは真庭市に住む、とある女性の掌です。何ともいえない不思議な魅力を放つ掌でした。「美しい」と言葉に出してしまうと失礼かと思いきや、静かにシャッターを切りました。

それはまるで樹木の年輪のように、皺のひとつひとつに彼女の生きてきた証が現されているようです。そして何よりも雄弁に人生を語っています。外見をどんなに着飾ろうとも、決して隠せはしない彼女だけが歩んできた時間の証左。「老人」。カテゴリーで括ることは容易く便利ですが、そのひと個人についてはなにも教えたくれません。たまにはそれを取っ払い、きっとあなたの身近にもいる「彼」や「彼女」個人の物語に耳を傾けてみてはどうでしょうか。

まずは、じつと掌を見ることから始めましょう。険しい無数の皺と温かく桃色を帯びた掌。きっとそれは時を経て生きてきた者だけが持てる、強さなのかも知れません。

すぎうらけいた／写真家 1980年岡山県生まれ。津山市在住。2008年「GEISAI #11」銅賞、「I氏賞」大賞／2009年「Daydream」(MaxProtetch Gallery/ニューヨーク)／2010年福武文化奨励賞、「ink jet」(CASHI/東京)、「杉浦慶太展・農村の意匠」(奈義町現代美術館/岡山)

## Editor's comments

3月11日午後、テレビ画面からは、豊かな大地を飲み込んでいく、暗黒の波が映し出されました。想像を絶する映像に事務局内は茫然と立ちすくむ以外ありませんでした。

この度の東日本大震災より被災を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

当財団も、被災地の生活、そして教育・文化の復興を祈り100万円を義援金として寄託いたしました。当財団福武理事長が呼びかけた「3.11 支援プロジェクト @ 岡山」では、支援の手が届きにくい自宅に残るお年寄りにと、被災地のNPOを通じて直接必要な物資をお届けしています。

日本だけではなく世界各地から復興復旧に向けての支援の手がさしのべられています。海外メディアは震災下においても略奪行為も、食料を奪い合う住民の姿もみられない日本に深く感銘しています。日本人の規律と協調性は海外でさらに広く認識され評価されています。

未曾有の巨大地震からの復興への道のりは、とても長い時間を要するものになると考えられます。このような時にこそ、教育や文化が大切だと思います。教育や文化は、人々の心の支えとなり、地域コミュニティの再生への原動力と成り得るからです。人々の心が豊かになり、被災した子どもたちやお年寄り、皆様の笑顔が一日も早く戻りますようお願いしています。

今年度の不易の表紙写真は、昨年度の福武文化奨励賞を受賞された写真家・杉浦慶太氏から提供していただくことになりました。杉浦氏はヒトやモノの本質のみをとらえようと撮り続けています。今号は「掌」の写真です。被災地へも多くの力強い「掌」が届きますように。(財団・W)

季刊

不易

F U E K I vol.42 2011.4.25

編集・発行：

財団法人 福武教育文化振興財団

〒700-0807 岡山市北区南方3-7-17  
株式会社ベネッセコーポレーション本社3F  
TEL 086-221-5254 FAX 086-232-3190  
URL <http://www.fukutake.or.jp/>  
E-mail [eczaidan@fukutake.or.jp](mailto:eczaidan@fukutake.or.jp)

制作：  
株式会社 吉備人  
デザイン：  
田中雄一郎(QUA DESIGN style)  
印刷：  
広和印刷株式会社



人づくり、地域づくりを応援します

財団法人 福武教育文化振興財団